

新旧対照表

○中津市地域防災計画 第1編 総則

修正後							修正前								
第1章 略							第1章 略								
第2章 本市の状況							第2章 本市の状況								
第1節 自然条件							第1節 自然条件								
第1 略							第1 略								
第2 地形							第2 地形								
(略)							(略)								
地目別面積 (単位：ha)							地目別面積 (単位：ha)								
総数	農用地		森林等			宅地	その他	総数	農用地		森林等			宅地	その他
	田	畑等	山林	竹林	原野				田	畑等	山林	竹林	原野		
略	略	略	略	略	略	<u>1,983</u>	<u>5,481</u>	略	略	略	略	略	略	<u>1,974</u>	<u>5,490</u>
資料：令和 <u>4</u> 年版大分県統計年鑑							資料：令和 <u>3</u> 年版大分県統計年鑑								
(略)							(略)								
第3～6 略							第3～6 略								

修正後	修正前
<p>第3章 災害とその特性</p> <p>第1節 豪雨災害・台風</p> <p>1 略</p> <p>2 大雨の特徴</p> <p>大雨の原因は、台風に伴うものと前線に伴うものがある。特に、前線に伴う大雨としては、平成24年7月と、平成29年7月と、令和5年7月が挙げられる。平成24年7月には、耶馬溪や山国地域に「これまでに経験したことのないような大雨」の表現で警報が発表された猛烈な雨があった。また平成29年7月には、県内で初めて大雨による特別警報が発表された。</p> <p>(1) 梅雨期（主として6月～7月）</p> <p>梅雨前線が九州中部から北部に停滞し、東シナ海から小低気圧が次々に接近する場合、南西からの湿った空気が山地に沿って上昇することで比較的長期間にわたり降雨が続く。</p> <p>平成24年7月3日・14日の集中豪雨では、中津で152mm/日、耶馬溪で250mm/日を観測しており、7月の月間降水量は、中津487mm、耶馬溪947mmとなっている。</p> <p>また、平成24年(2012年)6月30日～7月4日の梅雨前線による大雨により(耶馬溪の最大1時間降水量91.0mm)を記録したところであり、同年7月11日～7月14日の豪雨(「平成24年7月九州北部豪雨」)においても耶馬溪において最大1時間降水量71mmとなっている。</p> <p>平成29年7月5日の集中豪雨(平成29年7月九州北部豪雨)では、対馬海峡付近に停滞した梅雨前線に向かって暖かく非常に湿った空気が流れ込んだ影響等により、線状降水帯が形成・維持され、同じ場所に猛烈な雨を継続して降らせたことから、九州北部地方で記録的な大雨となった。中津市では、山国の釣鐘山で1時間最大雨量70mmを、24時間最大雨量499mmを観測した。</p> <p><u>令和5年7月10日の集中豪雨では、梅雨前線が西日本から東北地方付近に停滞して活動が活発化し九州北部地方や中国地方を中心に大雨となった。中津市では、雨量の多い所で山国町の小原井で24時間最大雨量が436mm、山国町の</u></p>	<p>第3章 災害とその特性</p> <p>第1節 豪雨災害・台風</p> <p>1 略</p> <p>2 大雨の特徴</p> <p>大雨の原因は、台風に伴うものと前線に伴うものがある。特に、前線に伴う大雨としては、平成24年7月と、平成29年7月_____が挙げられる。平成24年7月には、耶馬溪や山国地域に「これまでに経験したことのないような大雨」の表現で警報が発表された猛烈な雨があった。また平成29年7月には、県内で初めて大雨による特別警報が発表された。</p> <p>(1) 梅雨期（主として6月～7月）</p> <p>梅雨前線が九州中部から北部に停滞し、東シナ海から小低気圧が次々に接近する場合、南西からの湿った空気が山地に沿って上昇することで比較的長期間にわたり降雨が続く。</p> <p>平成24年7月3日・14日の集中豪雨では、中津で152mm/日、耶馬溪で250mm/日を観測しており、7月の月間降水量は、中津487mm、耶馬溪947mmとなっている。</p> <p>また、平成24年(2012年)6月30日～7月4日の梅雨前線による大雨により(耶馬溪の最大1時間降水量91.0mm)を記録したところであり、同年7月11日～7月14日の豪雨(「平成24年7月九州北部豪雨」)においても耶馬溪において最大1時間降水量71mmとなっている。</p> <p>平成29年7月5日の集中豪雨(平成29年7月九州北部豪雨)では、対馬海峡付近に停滞した梅雨前線に向かって暖かく非常に湿った空気が流れ込んだ影響等により、線状降水帯が形成・維持され、同じ場所に猛烈な雨を継続して降らせたことから、九州北部地方で記録的な大雨となった。中津市では、山国の釣鐘山で1時間最大雨量70mmを、24時間最大雨量499mmを観測した。</p>

修正後	修正前
<p><u>釣鐘山で1時間最大雨量が65mm、3時間最大雨量が169mmを観測した。</u></p> <p>第2、3節 略 (略)</p> <p>第4章 災害の想定 第1節 略 第2節 被害の想定 第1 略 第2 豪雨による災害</p> <p>この計画の前提となる想定豪雨災害は、過去の豪雨災害や県内、九州における被災事例等に基づき、以下のとおりとする。</p> <p><u>①平成17年7月9～10日にかけての集中豪雨</u> <u>中津74mm/日、耶馬溪127mm/日(観測開始以来第4位)を上回る雨量があり、警報基準である3時間積算雨量が250mmを越えた。</u></p> <p><u>②平成24年(2012年)6月30日～7月4日の梅雨前線による大雨</u> <u>耶馬溪の最大1時間降水量91.0mm)を記録。</u></p> <p><u>③平成24年7月九州北部豪雨</u> <u>耶馬溪において最大1時間降水量71.0mmを記録。</u></p> <p><u>④平成29年7月九州北部豪雨</u> <u>山国の釣鐘山で1時間最大降水量70mm、24時間最大降水量499mmを観測。</u></p> <p><u>⑤令和5年7月の集中豪雨</u> <u>山国町の小原井で24時間最大雨量が436mm、山国町の釣鐘山で1時間最大雨量が65mm、3時間最大雨量が169mmを観測。</u></p> <p>また、これらの既往の風水害と同程度の災害に加え、近年、時間雨量100mmを超えるような局地的な豪雨も多く発生しており、この局地的集中豪雨についても本計画の想定災害として位置づけるものとする。</p> <p>1、2 略 第3～5 略</p>	<p>第2、3節 略 (略)</p> <p>第4章 災害の想定 第1節 略 第2節 被害の想定 第1 略 第2 豪雨による災害</p> <p>この計画の前提となる想定豪雨災害は、過去の豪雨災害や県内、九州における被災事例等に基づき、以下のとおりとする。</p> <p><u>平成17年7月9～10日にかけての集中豪雨における、中津74mm/日、耶馬溪127mm/日(観測開始以来第4位)を上回る雨量があり、警報基準である3時間積算雨量が250mmを越えた。</u></p> <p><u>平成24年には、(2012年)6月30日～7月4日の梅雨前線による大雨により(耶馬溪の最大1時間降水量91.0mm)を記録しており、同年7月11日～7月14日の豪雨(「平成24年7月九州北部豪雨」)においても耶馬溪において最大1時間降水量71.0mmを記録した。</u></p> <p><u>さらに平成29年7月5日の集中豪雨(平成29年7月九州北部豪雨)では、山国の釣鐘山で1時間最大降水量70mm、24時間最大降水量499mmを観測した。</u></p> <p>また、これらの既往の風水害と同程度の災害に加え、近年、時間雨量100mmを超えるような局地的な豪雨も多く発生しており、この局地的集中豪雨についても本計画の想定災害として位置づけるものとする。</p> <p>1、2 略 第3～5 略</p>

修正後		修正前									
第5章 防災関係機関の処理すべき事務又は業務の大綱 (略) 第1～第3 略 第4 指定地方行政機関 (略)		第5章 防災関係機関の処理すべき事務又は業務の大綱 (略) 第1～第3 略 第4 指定地方行政機関 (略)									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>機関名及びその連絡の窓口</th> <th>処理すべき防災対策上の事務又は業務の大綱</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>九州地方整備局 (別府港湾・空港整備事務所、大分河川国道事務所、<u> </u>山 <u> </u>山 国川河川事務所、同中津出張所、同中津維持出張所)</td> <td>(略)</td> </tr> </tbody> </table>	機関名及びその連絡の窓口	処理すべき防災対策上の事務又は業務の大綱	九州地方整備局 (別府港湾・空港整備事務所、大分河川国道事務所、 <u> </u> 山 <u> </u> 山 国川河川事務所、同中津出張所、同中津維持出張所)	(略)		<table border="1"> <thead> <tr> <th>機関名及びその連絡の窓口</th> <th>処理すべき防災対策上の事務又は業務の大綱</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>九州地方整備局 (別府港湾・空港整備事務所、大分河川国道事務所、<u>大分川ダム工事事務所</u>、山 国川河川事務所、同中津出張所、同中津維持出張所)</td> <td>(略)</td> </tr> </tbody> </table>	機関名及びその連絡の窓口	処理すべき防災対策上の事務又は業務の大綱	九州地方整備局 (別府港湾・空港整備事務所、大分河川国道事務所、 <u>大分川ダム工事事務所</u> 、山 国川河川事務所、同中津出張所、同中津維持出張所)	(略)	
機関名及びその連絡の窓口	処理すべき防災対策上の事務又は業務の大綱										
九州地方整備局 (別府港湾・空港整備事務所、大分河川国道事務所、 <u> </u> 山 <u> </u> 山 国川河川事務所、同中津出張所、同中津維持出張所)	(略)										
機関名及びその連絡の窓口	処理すべき防災対策上の事務又は業務の大綱										
九州地方整備局 (別府港湾・空港整備事務所、大分河川国道事務所、 <u>大分川ダム工事事務所</u> 、山 国川河川事務所、同中津出張所、同中津維持出張所)	(略)										
第5～8 略 第9 その他公共団体及び防災上重要な施設の管理者等 (略)		第5～8 略 第9 その他公共団体及び防災上重要な施設の管理者等 (略)									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>機関名及びその連絡の窓口</th> <th>処理すべき防災対策上の事務又は業務の大綱</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大分県農業協同組合<u>北部堂農経済センター</u>中津支店</td> <td>略</td> </tr> </tbody> </table>	機関名及びその連絡の窓口	処理すべき防災対策上の事務又は業務の大綱	大分県農業協同組合 <u>北部堂農経済センター</u> 中津支店	略		<table border="1"> <thead> <tr> <th>機関名及びその連絡の窓口</th> <th>処理すべき防災対策上の事務又は業務の大綱</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大分県農業協同組合<u>北部事業部</u>中津支店</td> <td>略</td> </tr> </tbody> </table>	機関名及びその連絡の窓口	処理すべき防災対策上の事務又は業務の大綱	大分県農業協同組合 <u>北部事業部</u> 中津支店	略	
機関名及びその連絡の窓口	処理すべき防災対策上の事務又は業務の大綱										
大分県農業協同組合 <u>北部堂農経済センター</u> 中津支店	略										
機関名及びその連絡の窓口	処理すべき防災対策上の事務又は業務の大綱										
大分県農業協同組合 <u>北部事業部</u> 中津支店	略										